

五日 磐城時報

編輯兼發行人 岡田 弘
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
〒970 磐城 石城郡平町
電話 二五五
廣告料 一行五字 日五錢
▲日刊 (日曜、祭日) 休刊

市街地下は不許可

郊外は許可せん

平町調査委員一行 仙臺鑛山監督局に出頭

昨日出仙した青沼町長、野崎らしたと傳へられる。即ち同炭
萩原、多田井、馬目(雅)、猪狩鑛出願の採掘方針は平町市街地
の各委員は東京から仙臺へ直行は極一小部分で大半町南部飯野
した井上、關内兩委員と仙臺に村間の田地下である爲め平町の
落合の同日午後一時仙臺鑛山監督局に出頭する。此の採掘は結
督局に出頭鑛炭出願による局市街地々表に影響なしとし假
平町地下採掘問題に對する監督令平町の反對あつても國官開發
局の意圖を徹した結果同出願の見地から許可するもの、如く
於ける市街地は公害地として不、別途小田吉次氏より出願さ
許可の方針であるが、飯野村よれた區域は全市街地下の採掘願
りの郊外地は採掘するも地表に出であるから公害地として不許
さしたる影響なきものとして許可の態度に出るものと豫想され
可の方針であるらしい内意を漏る。

薰風の高月臺上

恒例磐中競技大會

呼物の郡下小學校選手競争

縣立磐城小學校第三十六回開校
記念陸上運動會は今日午前八時三十分から決戦を行ふが、本
時から高月臺上グラウンドに於いて稿々切までには結果判明せず。
て盛大に舉行された。此の日前年度の優勝校平第一、強豪好
高く一片の雲だに無い絶好の競闘校各々も堂々豫選を通過して
按日朝來から續々詰めかけらるるから決戦の白熱戦を豫想さ
る觀衆はさしほに廣いグラウンド
四邊を埋め盡し稀れに見る盛會
呼物當日大會の白眉とも言ふべ
き郡下小學校對抗優勝旗争奪の教育會では來六月三日平町平
織されてゐる警親會では來十二

教育會總會

石城郡内居住の元警察官を以つて組
均し工事人夫が作業中地下八尺居り約三百年前同地方に惡疫猖

繪畫展

平第二校優勝

第一校で總集會を開催する事に
決定、尚夏季講習會は七月二十
七日から三日間第一校で開催
する。

三阪縣道竣成の 記念碑建碑式

明日渡戸地内で盛大に

三阪街道一難所として知られた
三阪街道は井上縣議等の必死の
努力奏効して縣道編入後改修工
事を進めてゐたが見事完成し
しもの難道三阪街道も坦々地方
稀れに見る良道と化した地方
三阪、永戸兩村民は此の縣道竣
成の喜びを永遠に記念すべく永
戸村渡戸地内に記念碑を建立す
る事になり工事を急いでゐたが
此の程完成したので明六午前十
時から兩村聯合三阪縣道改修期
成同盟會主催の下に盛大な建碑
式を舉行する事となつた。

四倉町助役

菅波氏再選か

珍品問題からもつれた四倉町の
助役問題は來る二十二日の任期
満了期を控えて自薦、他薦の助
役候補が策動を續けてゐたが新
要町長は慎重な態度を保持して後
任助役を物色してゐるが適當な
人物なく人選難の形で現在の狀
勢から推して結局現助役菅波千

災禍の久の濱に 義捐金を送附

四倉消防組の篤行

四倉町消防組では激浪襲來で大
賑の隣町久の濱救済の爲め去
月來全町に亘り義捐金の募集に
努めてたが
▲第一部八十三圓十五錢
▲第二部五十二圓四十錢
▲第三部七十一圓
▲第四部八圓十錢
▲第五部八圓十錢
▲四倉鑛城セメント従業員金
▲十圓▲通照講五圓
▲總計二百二十九圓六十五錢に達
したので二日募集を締切り同町
役場の手を通じ此の尊い義捐金
全部を久の濱役場に送附した。

郡内春蠶掃立

例年より幾分遅れて 約一割の掃立減豫想

春蠶掃立期の接近に連れて郡養
蠶同業組合では各町村組合と共
方技術員總出動で掃立指導に努
めてゐるが今年天候の關係か
掃立期は一向に遅れ平年より
五日程度の遅延は免れないもの
と豫想されてゐる。郡内で最も
早期掃立の小川、平窪方面で
例年より六日遅れて來る十二
日頃でなければ掃立開始が出来
ないらしく山間部も此れに一週
間遅れて最盛期は二十日前後と
見られる、組合當局の掃立豫想
は大體一萬五千グラム見當年
春蠶掃立の約一割減である。

茨城縣人會

二十日總會開催

平町茨城縣人會では此の程役員
會を開き春季總會日取りその他
故警察官の慰靈祭を執行後豫算
決算、役員改選その他議案を附
町に開催散會後勿來古跡、郷土
旅行を行ふ事となつた。

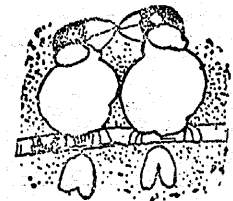
忠魂碑敷地から 六ヶの人體白骨

約三百年を経たものか 工事人夫が發掘

四倉町在郷軍人分會では町内有位の個所に一列にならんで六
志の寄附を仰いで同町字地引地ヶの白骨と化した人體あるを
内の高臺に總工費千六百圓を投發見直ちに四倉署に届出ると共
じて忠魂碑を建立する事になり發掘作業を續けてゐるが發掘
過般來敷地の地ならし工事を進められた此の白骨六體は各れも約
めてゐたが昨日午前九時頃地二三百年前のものと思はれて
均し工事人夫が作業中地下八尺居り約三百年前同地方に惡疫猖

ワラビ取り 谷底に轉落

久之濱町字江之網渡邊清六妻フ
ク(五八)は二日午後四時頃波立
薬師附近に蕨を取りに行き高さ
十五間の谷底に轉落瀕死の重傷
を負つた。



新花 町曆

◆新田町の大神所秀勇に次ぐ
姐御命榮の升美が愈々多年の
宿望が叶つて……樹美家の
看板を揚げた。
◆當分は抱を置かず自前で女
將兼業者兼箱屋?はまさか……
……でも一生懸命に稼ぐんだ!
……このこと何しろめでたい。

有給社員招聘

紳士的奮闘の士を求む
相當優遇
有隣生命保險株式會社
平 出 張 所
平 町 大 町 所
所長 鈴木健司

磐城洋裁専門學院

女子
入學は毎月初日
……ハンド、ブックに化
けなげりや?……
◆ノッポの横綱開花の桃子、
近頃トント元氣がなさそう。
あの快活な技がどうした譯か
お座敷でも少くか顔色を見せ
るのに、氣を採み筋が、年頃
だ酔ッパイが欲しくなつたん
ぢやないか?……はさうかと
思ふ。

新發明 透明障子紙
 福島、茨城 四縣下一手販賣
 宮城、栃木 平町四丁目
 伊勢屋
發賣元 阿部商店
 電話四五番

新車購入御披露
 御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!!!
 本縣下第一車が皆様の昭和へ入りました
 ニーアクシヨン装置絶好の乗心地。是非御試乗の程御願ひ致します。
 呼び良い電話三四〇番増設
 致しました
 平驛前 昭和タクシー
 電話三四〇番

電話二二番開設
上原家政婦會
 會主産婆 上原通子
 平町紺屋町一

10日 検査機 検査新
 体温計の検査日です
 お宅の体温計は?
 ◎正確な体温計を御使用下さい
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい
 度量衡 指定販賣人 **西村屋藥局**
 計量器 電話三番

土木建築設計工事監督
 土木建築出願事務取扱
大井建設事務所
 平出張所
 建築士 大井勇
 福島縣平町仲間町通

吸入用酸素 純度99%
 体温器
 寒暖計
 秤ノ取緒・鉦糸・修復機シマス
 寫眞 材料一式
關内藥局
 電話四〇番

御料理 仕出し 月廻家
 平町田町
 電話三〇四番

齒科 神谷齒科醫院
 平町古鍛冶町九一
 神谷辰夫

ゼブラ自轉車 代理店
 宮田自轉車
エビスヤ自轉車店
 遞信省御用 電話六六四番
 ◎小店員二名入用 眞面目で身体強健の者 十四、五歳位委細來談あれ

コンボーク **塩豚**
 平町田町
 三三三屋
 電話三三三番

店主が店員を連れて行かれ
 正シキ酒場 正シキ喫茶 正シキ食堂
 平・田町 **レストランサロン**
 電話三五二

三葉印刷所
 平町仲町・電話一九三番

電話一〇八番開設
 毎度有難う御座います
 ベーカリー東京堂もウマイパンとの御評判で喜んで居ります
 此度電話一〇八番を開設致しました
 ドンく御利用を願ひます
ベーカリー 東京堂
 搔樋小路 (電話一〇八番)

夜間診療
腸胃病 胃腸病科
性病 花柳病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科
専門
松村村松 性病腸胃病科
 (平町南町一七番)

開業
中野齒科醫院
 院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
 日本齒科 醫學士 西川 誠
 診療科目 一般 齒科 保存 補綴 矯正 小兒齒科 齒槽膿漏科 口腔外科 レントゲン科
 平町田町(松月堂向) 電話五〇九番